平成26年８月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年４月４日

上場会社名　ヤマト インターナショナル株式会社　上場取引所　東
コード番号　8127　ＵＲＬ　http://www.yamatointr.co.jp
代表者　（役職名）取締役社長　（氏名）盤若　智基
問合せ先責任者　（役職名）執行役員 経営企画室長　（氏名）安栗　清　ＴＥＬ　03-5493-5629
四半期報告書提出予定日　平成26年４月14日　配当支払開始予定日　平成26年４月25日
四半期決算補足説明資料作成の有無：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

（百万円未満切捨て）

１．平成26年８月期第２四半期の連結業績（平成25年９月１日～平成26年２月28日）

（１）連結経営成績（累計）　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年８月期第２四半期	12,635	△1.1	492	△36.1	527	△36.3	221	△50.4
25年８月期第２四半期	12,774	3.4	770	6.2	827	9.3	447	14.1

（注）包括利益　26年８月期第２四半期　319百万円（△64.7%）　25年８月期第２四半期　904百万円（68.5%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年８月期第２四半期	10.42	－
25年８月期第２四半期	21.02	－

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年８月期第２四半期	31,681	21,772	68.7	1,021.94
25年８月期	30,274	21,624	71.4	1,014.94

（参考）自己資本　26年８月期第２四半期　21,772百万円　25年８月期　21,624百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年８月期	－	8.00	－	8.00	16.00
26年８月期	－	8.00			
26年８月期（予想）			－	8.00	16.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　無

３．平成26年８月期の連結業績予想（平成25年９月１日～平成26年８月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,800	0.1	500	△49.5	550	△49.5	100	△82.8	4.69

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：　無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：　無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　無

②　①以外の会計方針の変更　：　無

③　会計上の見積りの変更　：　無

④　修正再表示　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年８月期２Ｑ	22,502,936株	25年８月期	22,502,936株
②　期末自己株式数	26年８月期２Ｑ	1,197,840株	25年８月期	1,196,921株
③　期中平均株式数（四半期累計）	26年８月期２Ｑ	21,305,096株	25年８月期２Ｑ	21,306,971株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、様々の要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注記事項については、（添付資料）３ページ「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（セグメント情報等） …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済・金融政策を背景に穏やかな回復基調で推移いたしましたが、平成26年４月の消費増税による消費マインドの冷え込みリスクも懸念される等、先行き不透明な状況となっております。

当業界におきましては、一部で高額商品等の消費に回復の動きが見られたものの、平成26年２月の記録的な積雪等、天候不順による影響もあり、厳しい状況となりました。

このような経営環境の中、当社グループでは、基本方針である「時代に合った顧客が求めるカジュアルスタイルの提案」を念頭に、中長期目標として掲げた「先10年戦える“小売型アパレル”への転換」を実現するため、「小売に求められる　組織・意思決定・人　の最適化」を推進しております。

販売面では、小売事業本部と自主管理事業本部に組織を再編成し、直営店・コーナー店等それぞれのチャネルにおいてお客様に満足していただける価値の提供に注力してまいりました。また、新設したディストリビューション推進室では店頭在庫の適正管理により店舗運営機能を強化し、業務管理室では諸業務の効率化を図ってまいりました。

国内の店舗展開につきましては前期末より11店舗増加し、894店舗となりました。また、海外（中国）にて展開中の３店舗を含めますと、国内外の総店舗数は897店舗となっております。

なお、不動産賃貸事業につきましては、引き続き東京本社ビル及び日本橋ビル等、自社物件の有効活用に努めております。

また、生産拠点の東南アジア比率を拡大し、生産コストの削減に努力しております。引き続き、諸業務の更なる効率化を図り、ローコスト経営を徹底してまいります。

一方、当社グループの物流業務を請負う子会社ヤマト ファッションサービス株式会社では、在庫管理や入出荷業務の精度向上に努め、布帛シャツ及びアウター等の製造を行う上海雅瑪都時装有限公司では、品質の向上と生産ラインの効率運営に注力してまいりました。

当第２四半期連結累計期間における連結業績は、天候不順の影響により秋物及び冬物防寒衣料の販売が苦戦し、売上高は126億３千５百万円（前年同期比1.1％減）と減収になりました。利益面では上記理由により定価販売が減少するとともに、在庫の適正化を図ったことにより、売上総利益率は47.0％と2.0ポイント低下し、営業利益は４億９千２百万円（前年同期比36.1％減）、経常利益は５億２千７百万円（前年同期比36.3％減）と減益になりました。また、店舗の積極的なスクラップ＆ビルドによる特別損失の計上もあり、四半期純利益は２億２千１百万円（前年同期比50.4％減）となりました。

セグメントごとの売上高では、繊維製品製造販売業125億３千１百万円（前年同期比1.2％減）、不動産賃貸事業１億４百万円（前年同期比9.8％増）となりました。

（２）財政状態に関する説明

①流動資産

当第２四半期連結会計期間末における流動資産の残高は175億２千５百万円となり、前連結会計年度末と比べ15億１百万円増加いたしました。主な要因は、有価証券の増加21億２百万円、商品及び製品の増加５億６千４百万円であります。現金及び預金と有価証券を合わせた手元流動性資金は104億５百万円から10億４千万円増加し114億４千６百万円となりました。受取手形及び売掛金の残高は４百万円増加し、21億８千６百万円となりました。

②固定資産

当第２四半期連結会計期間末における固定資産の残高は141億５千６百万円となり、前連結会計年度末と比べ９千３百万円減少いたしました。主な要因は、投資有価証券の増加１億８千８百万円、有形固定資産の減少１億４千２百万円、差入保証金の減少１億２千４百万円、繰延税金資産の減少３千７百万円であります。

③流動負債

当第２四半期連結会計期間末における流動負債の残高は80億５千８百万円となり、前連結会計年度末と比べ15億５千５百万円増加いたしました。主な要因は、支払手形及び買掛金の増加15億５千２百万円、１年内返済予定の長期借入金の増加２億円、未払法人税等の減少１億３千万円であります。

④固定負債

当第２四半期連結会計期間末における固定負債の残高は18億５千万円となり、前連結会計年度末と比べ２億９千６百万円減少いたしました。主な要因は、長期借入金の減少２億８千３百万円であります。

⑤純資産

当第２四半期連結会計期間末における純資産の残高は217億７千２百万円となり、前連結会計年度末と比べ１億４千８百万円増加いたしました。主な要因は、利益剰余金の増加５千１百万円、その他有価証券評価差額金の増加８千５百万円、、為替換算調整勘定の増加３千１百万円、繰延ヘッジ損益の減少２千万円であります。これらの結果、自己資本比率は前連結会計年度末の71.4％から2.7ポイント低下し、68.7％となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年８月期の連結業績予想につきましては、消費増税による消費マインドの冷え込み等、国内経済の先行きは依然不透明であり、引き続き厳しい経営環境が予想されることから、平成25年10月11日に公表いたしました数値を修正しております。詳細につきましては、平成26年３月20日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成25年８月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成26年２月28日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,963,085	3,901,230
受取手形及び売掛金	2,182,901	2,186,948
有価証券	5,442,286	7,545,082
商品及び製品	2,679,825	3,244,182
仕掛品	73,042	67,454
原材料及び貯蔵品	20,596	101,839
繰延税金資産	163,668	145,129
その他	498,867	333,535
貸倒引当金	△252	△240
流動資産合計	16,024,022	17,525,161
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,537,968	2,335,057
機械装置及び運搬具（純額）	39,528	39,820
土地	7,931,184	7,931,184
リース資産（純額）	23,165	65,218
建設仮勘定	－	27,938
その他（純額）	90,974	81,552
有形固定資産合計	10,622,821	10,480,772
無形固定資産	127,530	127,066
投資その他の資産		
投資有価証券	1,932,467	2,120,763
差入保証金	1,332,296	1,207,569
繰延税金資産	149,414	111,555
その他	106,164	129,080
貸倒引当金	△20,081	△20,081
投資その他の資産合計	3,500,260	3,548,887
固定資産合計	14,250,611	14,156,726
資産合計	30,274,633	31,681,888

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成25年８月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成26年２月28日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,760,832	6,313,052
1年内返済予定の長期借入金	167,332	367,332
未払法人税等	324,909	194,262
賞与引当金	113,939	106,630
返品調整引当金	31,000	30,000
ポイント引当金	101,538	93,736
資産除去債務	5,687	4,975
その他	997,836	948,898
流動負債合計	6,503,076	8,058,888
固定負債		
長期借入金	1,307,335	1,023,669
退職給付引当金	480,007	452,207
資産除去債務	141,915	137,871
その他	217,973	236,768
固定負債合計	2,147,231	1,850,516
負債合計	8,650,307	9,909,404
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,917,652	4,917,652
資本剰余金	5,644,906	5,644,906
利益剰余金	11,277,652	11,329,169
自己株式	△654,971	△655,366
株主資本合計	21,185,241	21,236,362
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	249,537	335,355
繰延ヘッジ損益	13,465	△6,838
為替換算調整勘定	176,082	207,603
その他の包括利益累計額合計	439,085	536,121
純資産合計	21,624,326	21,772,483
負債純資産合計	30,274,633	31,681,888

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年９月１日 至　平成25年２月28日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年９月１日 至　平成26年２月28日）
売上高	12,774,488	12,635,748
売上原価	6,508,621	6,702,266
売上総利益	6,265,867	5,933,481
返品調整引当金戻入額	29,000	31,000
返品調整引当金繰入額	30,000	30,000
差引売上総利益	6,264,867	5,934,481
販売費及び一般管理費	5,494,535	5,442,370
営業利益	770,331	492,111
営業外収益		
受取利息	8,225	10,179
受取配当金	15,181	20,865
受取補償金	11,951	1,813
為替差益	10,205	4,181
その他	22,761	10,298
営業外収益合計	68,325	47,338
営業外費用		
支払利息	10,930	11,595
その他	637	792
営業外費用合計	11,568	12,388
経常利益	827,089	527,062
特別損失		
固定資産除却損	38,127	4,937
減損損失	24,998	103,196
特別損失合計	63,126	108,134
税金等調整前四半期純利益	763,963	418,927
法人税、住民税及び事業税	327,480	176,146
法人税等調整額	△11,440	20,815
法人税等合計	316,039	196,962
少数株主損益調整前四半期純利益	447,923	221,965
少数株主利益	－	－
四半期純利益	447,923	221,965

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年９月１日 至　平成25年２月28日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年９月１日 至　平成26年２月28日）
少数株主損益調整前四半期純利益	447,923	221,965
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	306,676	85,818
繰延ヘッジ損益	41,095	△20,303
為替換算調整勘定	108,926	31,521
その他の包括利益合計	456,698	97,035
四半期包括利益	904,622	319,000
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	904,622	319,000
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年９月１日 至　平成25年２月28日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年９月１日 至　平成26年２月28日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	763,963	418,927
減価償却費	169,587	165,351
減損損失	24,998	103,196
返品調整引当金の増減額（△は減少）	1,000	△1,000
ポイント引当金の増減額（△は減少）	2,853	△7,802
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△22,102	△12
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△8,232	△27,799
賞与引当金の増減額（△は減少）	△9,389	△7,539
受取利息及び受取配当金	△23,406	△31,045
支払利息	10,930	11,595
固定資産除却損	38,127	4,937
売上債権の増減額（△は増加）	△42,113	362
たな卸資産の増減額（△は増加）	△660,742	△630,558
仕入債務の増減額（△は減少）	2,119,560	1,551,335
その他の資産の増減額（△は増加）	14,417	31,378
その他の負債の増減額（△は減少）	△58,398	△122,133
その他	7,215	5,221
小計	2,328,268	1,464,417
利息及び配当金の受取額	23,022	30,967
利息の支払額	△11,248	△11,427
法人税等の支払額	△79,769	△304,777
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,260,272	1,179,180
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△14,731	△33,321
定期預金の払戻による収入	14,731	233,321
有価証券の売却及び償還による収入	100,000	300,000
有形固定資産の取得による支出	△168,317	△25,758
無形固定資産の取得による支出	△10,338	△10,026
投資有価証券の取得による支出	△102,710	△156,895
投資有価証券の売却及び償還による収入	100,000	212,448
差入保証金の差入による支出	△85,250	△15,885
差入保証金の回収による収入	59,631	28,742
その他	△3,591	△4,460
投資活動によるキャッシュ・フロー	△110,577	528,163
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	200,000	50,000
長期借入金の返済による支出	△91,660	△133,666
自己株式の取得による支出	△140	△395
配当金の支払額	△191,764	△170,448
その他	△2,909	△8,342
財務活動によるキャッシュ・フロー	△86,474	△262,851
現金及び現金同等物に係る換算差額	25,786	8,410
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	2,089,007	1,452,902
現金及び現金同等物の期首残高	8,516,897	9,827,307
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,605,905	11,280,209

（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

Ⅰ　前第２四半期連結累計期間（自　平成24年９月１日　至　平成25年２月28日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額（注）1	四半期連結損益計算書計上額（注）2
	繊維製品製造販売業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	12,679,690	94,798	12,774,488	－	12,774,488
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	12,679,690	94,798	12,774,488	－	12,774,488
セグメント利益	1,079,695	26,408	1,106,104	△335,772	770,331

（注）１．セグメント利益の調整額△335,772千円は、各報告セグメントに配分していない当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

重要性が乏しいため記載を省略しております。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間（自　平成25年９月１日　至　平成26年２月28日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額（注）1	四半期連結損益計算書計上額（注）2
	繊維製品製造販売業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	12,531,627	104,120	12,635,748	－	12,635,748
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	12,531,627	104,120	12,635,748	－	12,635,748
セグメント利益	800,679	35,704	836,383	△344,272	492,111

（注）１．セグメント利益の調整額△344,272千円は、各報告セグメントに配分していない当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「繊維製品製造販売業」セグメントにおいて、103,196千円の固定資産の減損損失を計上しております。